

## シンポジウム

今回は、フィリップス/シーメンス/GE/東芝、各メーカーの最新の最高峰機種に対してユーザーの立場での発表の形式をとりました。

会場からは『一体どんな装置なのか』という装置そのものに対する疑問があるようで、質問についても仕様に関するものが多かったようでした。

対するシンポジストも装置導入から日が浅く、本人自身も理解出来ていないところが見られました。その中で、Aquilion ONE においては、一日の長があり、多くの報告をしていただきました。

ほんの2~3年前は、夢のように考えていた装置が現実のものとなり、メーカー発表から1年後には九州の何処かの施設で稼働している現状を考えると、時代のスピードに取り残されてしまうような錯覚さえ感じます。実際の現場では、4 DAS や 16 DAS の CT が主流であるにも関わらず・・・

これから、1年後には今回発表されたそれぞれの施設において、装置の特徴を生かした撮像法が施行されている事とでしょう。願うならその時に、もう一度シンポジウムを開催出来ればと思います。

発表形式においては、PC の入れ替えに時間がかかり、少しダレてしまった事をお詫びします。一つの PC にまとめる事も考えますが、動画再生の問題や個人の情報財産なので難しい面もあります。今後の検討課題の一つに取り上げたいと思います。

長崎大学病院 福田 徹